

〈第 69 号〉 令和8年 10月21日(水) 那覇高校 進路支援部	は お う じ ゅ 進路だより  霸王樹	3年生対象（希望者） 河合塾 マーク式模試 （担当：渡嘉敷）
---	--	---

3年生対象（希望者）

河合塾 全統プレ共通テスト模試 実施要項

- ね ら い : 大学入学共通テストを想定した模擬試験に取り組むことにより、苦手分野の洗い出しを行い受験本番までの残り期間（約3か月）の学習計画を作成する基本材料とする。
- 全統プレ共通テスト模試の特徴
 - Benesse・駿台模試と並んで受験者の多い模試です。（昨年度は共通テスト受験者の約2人に1人がこの模試を受験）
 - 河合塾の模試は良問が多く、難易度が最も大学入学共通テストに近いと言われています。
 - 本番2か月前の模試ですので、見直しにしっかり取り組むことにより本番での得点大幅アップが期待できます。
- 対 象 者 : 3年生 受験希望者
- 受 験 日 : **2026年11月28日（土）** 指定場所へ**7：50集合** ※ 制服にて受験。時間厳守！
※ 11月27日（金）放課後に「情報」と「数学②」の試験を実施します。
- 場 所 : 講義室Ⅰ～Ⅲ（予定） ※ 決定後お知らせします。
- 受 験 料 : **4,210円**（払い込み事務手数料¥100が別途かかります。）
- 申込み方法 : **10月20日(火)～23日(金) 17：00 ← 注意！**
3学年 Teams で案内するFormsにて申し込み、その後配布される払込票でコンビニ決済を行う。



8. 時 間 割

11月27日（金） 16：30～17：30（60分） 情 報
17：40～18：50（70分） 数学②

7：50集合！

試験日	試験時間	教 科
11月28日（土）	8：00～ 9：30（90）	国 語
	9：40～11：00（80）	英 語
	11：10～11：40（30）	リスニング
	11：50～13：00（70）	数 学 ①
	13：00～13：50（50）	昼食・志望校登録
	13：50～14：50（60）	地歴・公民（1科目め）
	15：00～16：00（60）	理 科 （1科目め）
	16：10～17：10（60）	地歴・公民 / 理科 （2科目め）

9. 連絡事項

- 受験科目は大学入学共通テストの受験予定科目を受験してください。
- 何か質問がありましたら、進路模試系（渡嘉敷）まで直接連絡ください。/(_ _)

（※ 裏面も見てね！ 🍌）

模試を受験するメリットについて考えよう！

模試の受験では、受験後に返却される志望校判定が一番気になるところ。でも、その結果に一喜一憂することにあまり意味はありません。模試は、これまでの学習成果を確認する場であるとともに、本番の入試を想定した取り組みを試みる機会です。受験後の結果よりも、まずは模試を受験するプロセスを大事にしましょう。

模試を受験するメリットは大きく**3つ**あります。

1. 入試本番に近い雰囲気を感じられる。
2. 普段の学習で気づかない弱点を発見することができる。
3. 受験者の中での自分の位置が掴める。



1 入試本番に近い雰囲気を感じられる

入試では、緊張から自分の実力が思うように出せなかったり限られた試験時間内に解答できなかったりすることが往々にしてあります。入試本番の雰囲気に近い模試を経験することで緊張にも慣れ、試験時間の配分を考えることができるようになります。徐々に本番で実力が出せるようになっていくのです。共通テスト対策の模試や特定大学対策の模試では、試験時間や問題冊子、解答形式なども本番の入試に準じています。予め体験しておくことで、入試ではより落ち着いて受験に臨めるでしょう。

2 普段の学習で気づかない弱点を発見することができる

緊張感をもって模試に臨むことで、日々の学習ではなかなか気づかない自分の弱点を発見できます。「分かっていたと思っていたのに出来なかった。」「単語力が足りないと感じた。」こうした気づきこそが模試受験の最大の目的です。気づくことでその後の具体的な学習指針が見えてきます。模試で解けなかった問題は、入試本番までに解けるようになっていけばよいのです。大切なのは、復習して自分の弱点や反省点を振り返り、補強することです。

3 受験者の中での自分の位置が掴める

多くの模試では志望校判定を実施しています。同じ志望校を考えている受験生がどの程度いて、その中で今の時点で自分がどの位置にいるのかを確認できます。一方で、模試の志望校判定を見て一喜一憂をすることはお勧めできません。志望校判定はあくまで模試を受けた時点での合格可能性です。あまり楽観的にも悲観的にもならないようにしましょう。この時点で大事ななのは、上記で述べたように自分の弱点分野の把握と克服であることを心に留めておきましょう。